

今、気をつけたいメンタルヘルス

保健指導員 井上 智代

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、私たちの日々の生活も大きな影響を受けておりますが、いかがお過ごしでしょうか。活動範囲の制限や人との交流が制限され、普段とは異なる生活を送る必要があることから、様々な不安や緊張感をもって生活していかなければならず、ストレスを抱えてしまうこともあるかと思えます。そこで、WHO(世界保健機関)で示されている、「Coping with stress during the 2019-nCoV outbreak(新型コロナウイルス感染症の流行時のストレスへの対処)」(https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/news/COVID19_special-page_public)に書かれている6つの内容を簡単にご紹介していきたいと思えます。

- ① ストレスを感じたときは信頼している人と話す。友達や家族に連絡を取る。
- ② 家にいなければならない時は、健康的な生活習慣を心がける。メールや電話などを活用し、人とのつながりや社会との接点を大切にする。
- ③ 気持ちを落ち着かせるために、たばこやお酒、薬物に頼らない。精神的にいっぱいだと感じたときは、医療従事者やカウンセラーと話をしてみる。
- ④ 適切な予防策が取れるよう、正確な判断に役立つ情報を集める。
- ⑤ 不安をあおるようなマスコミによる報道を見たり聞いたりする時間を減らす。
- ⑥ これまでに逆境や困難を乗り越えた時に役立ったスキルを活用する。

外出等なかなかできないことから、不安やストレスを感じることも多いかもしれませんが、人の声を聞く、声を出して話す、テレビ電話のような機能で相手の顔を見て話をするなどで、少し心が軽くなるかもしれません。そして、正しい情報を知ることが大切です。インターネットでは様々な情報が見受けられますが、惑わされず、信頼できる情報源から情報を得るようにしましょう。また、身体の不調は心の不調につながりやすいことから、3食しっかり食べ、時には家の中でできる体操を行うなど規則正しい生活を送るよう心がけましょう。



Niigata College of Nursing
PORTICO

新潟県立看護大学ニュース / 2020.7
ポルティコの広場 / vol.37

逆境
のなか
で輝く

オンライン

オープンキャンパス情報

動画配信やメールでの個別相談を7/30~8/21、Zoomを利用した個別相談を8/22・23の2日間開催します。視聴、参加には事前の申し込みが必要です。

詳細は大学ホームページをご覧ください。➡



 新潟県立看護大学
Niigata College of Nursing

〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
Tel 025-526-2811 Fax 025-526-2815 E-mail soumu@niigata-cn.ac.jp
<https://www.niigata-cn.ac.jp/>

編集
後記

日々様々な困難に向き合いながらケアに尽力されている医療職の皆様へ、心より感謝を申し上げます。COVID-19感染拡大によって、私たちも初めての遠隔授業や、密とまらない学習方式に適応するよう、日々教育内容を変革していくことは大きな挑戦でした。しかし、この経験が「逆境の中で輝く」よう、次の飛躍につながることを信じ頑張っていきます。
西田、久保野、大倉、石岡

発行日：2020年7月15日

学長より~新入生へのメッセージ~/オンラインによる遠隔授業	P2
新入生より~新たな大学生活に向けて~/在学生より~歓迎の言葉~	P3
新任教員紹介/新事務職員紹介	P4
学生活動~サークル活動紹介&PR~	P5
研究室訪問~成人看護学 樺澤三奈子先生~	P6
お勧めしたい家での過ごし方/令和2年度科学研究費採択課題一覧	P7
今、気をつけたいメンタルヘルス/オープンキャンパス情報	P8

新入生へのメッセージ



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症パンデミックの幕開けとなってしまいました。本学は4月6日に新学期を開始しましたが、政府からの「緊急事態宣言」の発令により、4月16日～5月6日まで休校措置をとることにしました。5月7日から大学を再開したものの当面、全ての授業を

on-lineの遠隔授業としております。学生、特に新入生の皆さんは、入学間もなくの休校、登校禁止の状態になり、「これからどうなるのだろう?」との不安を抱かれています。国内の感染症は大幅に減少してきて、5月25日、全国の緊急事態宣言は解除されました。これを受けて大学は、授業は当面、on-lineの遠隔授業とする一方で、必要な登校を認める方針をお知らせしました。看護大学のカリキュラムは、臨地の看護実習が必須であり、7月から3年生の領域別看護実習が始まります。実習先が病院、介護施設、在宅療養のお宅であったりするので、実習の受け入れが危惧されるところです。これを見込んで、文部科学省・厚生労働省から医療関係職種を養成する大学に「実習施設の受け入れが困難である場合は、実情を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えない」といった通達がありました。大学は今後、実習施設に受け入れの可否を伺い、実習科目毎に臨地の実習にするか学

内実習に代替えるかして、予定された看護実習は年度内に学修できるようにしていく方針です。

一時期、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるに迫った医療現場の報道番組が盛んに放映されました。その中で、早い段階から感染症患者を受け入れていた病院の感染管理認定看護師の方が「院内感染のリスクと隣り合わせでも、正しい防護服の着脱、清潔・汚染区域のゾーニングといった感染防止の基本の徹底で、院内感染はゼロ、感染は防げます!」と締めくくっていました。「勇気づけられる看護師さんの言葉でした」とアナウンサーが発言していましたが、看護のプロフェッショナルとして素晴らしい!と私自身、感銘を受けました。感染症発生からこの方、新型コロナウイルス感染症の患者さんの治療・ケアに使命感をもってあたる医師、看護師、保健師、医療従事者、そして介護現場の方々には感謝の言葉しかありません。大学は病院で働く医療従事者への感謝の意を示すために夜間、大学の2階・3階の窓をブルーライトの光で照らしています。

学生のいない大学は寂しいです。登校の折には、是非元気な顔を見せてください。といっても、マスク着用、フィジカル・ディスタンス、大声は上げない等、新たな生活様式を守り、第2波、第3波が来ても感染拡大を抑えるべく、皆でこの困難を乗り越えましょう。

6月1日 学長 小泉 美佐子

学生生活 オンラインによる遠隔授業

オンラインでの遠隔授業がはじまりました



本学では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う感染防止対策として、遠隔授業が5月7日からスタートしました。感染症が蔓延する中であっても、学生は自宅のパソコンから講義動画を閲覧したり、自宅でテストや課題を行ったりするなどして主体的な学習を進めています。また、学生と教員がオンライン上で討議をするなどしてそれぞれの学びを深めています。大学の校舎に学生の姿はほとんどありませんが、インターネットの中では教員と学生がつながり、有意義な学びが継続されています。



新入生より-新たな大学生活に向けて-

今年は新型コロナウイルス蔓延のため、入学式も中止となってしまいました。そんな中でも、様々な期待を胸に新たな大学生としてスタートしました。

新生活を迎えて



大学に入学し早くも3か月を迎えようとしています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入学式がありませんでした。また学外オリエンテーションも中止せざるを得ず、学校も休校になる異例の事態になりました。私は、思い描いていた大学生活と現実とのギャップを感じ、この先の大学生活に対して不安が募って

いきました。しかし、この大変な状況のなか先生方や先輩方が温かく迎えてくれました。ガイダンスでは、先生方が限られた時間の中で私たちに伝わるよう熱心に説明してくださいました。また、分からないことがあればメールでのサポートも対応しており安心して学習ができる環境を作ってくださいました。先輩方も少しでも私たちが楽しく大学生活を送れるよう様々な企画などを考えてくださり、これからの学校生活が楽しみになりました。

先生方や先輩方に温かく迎えられる、充実した学習が行えるこの新潟県立看護大学で、自分が理想とする看護師になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。

大学生活への不安と期待



今年の春は少し変わった春でした。新型コロナウイルス蔓延の影響により入学式や毎年ある学外オリエンテーションが中止となりました。そのため入学したときは不安でいっぱいでした。しかし、学年担任の方々自身が紹介をする機会を与えてくださったり、直接ではありませんが先輩方からサークルの紹介を聞く機会があったりしたのですぐに慣れることができました。授業時間が90分というのはとても長く辛いと思っていました。けれど、グループで話すことや自分の興味のあることについて勉強ができるので、苦になることなくすぐに終わります。

始まったばかりですが、これからの大学生活がとても楽しみです。

新たな生活への期待と感謝



辛かった受験期を乗り越え、憧れの大学生活の一步を踏み出そうとした最中、感染症の影響で登校禁止となってしまいました。楽しみにしていた学外オリエンテーションが中止となり、これからの学校生活に不安を抱えたままのスタートとなりました。しかし同時に、新たにできた個性豊かな友人や臨機応変に対応してくださった先生、先輩方など、多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。また、今も最前線で働いている医療従事者の方々の現状を知り、将来医療の現場で働く立場としても、とても身の引き締まる思いでした。当たり前の生活が送れることへの感謝の気持ちを忘れず、これからの学校生活も頑張っていきたいです。

一人暮らしについて



私たちは新型コロナウイルスの混乱の中入学を迎えました。例年とは異なる環境なので一人暮らしの生活についてお伝えしようと思います。私の実家は新潟市なので、入学を機に上越に引っ越してきました。最初は家の周囲の環境も分からず不安なことも多く、生活し辛い環境かもしれないと思っていました。しかし、一人暮らしが始まると、逆に生活のしやすさに驚きました。一人暮らしをしてみると、大学の近くで暮らす人が多いと思います。大学の近くにはスーパーや薬局、コンビニなどあり日常に必要なものはすぐに手に入れることができます。また、多くの学生が大学の近くに住んでいるので、私生活で困ったことがあればすぐに相談できると思います。生活環境がわからず、進学に迷っている人はぜひ一度上越に訪れ、大学の周りを見てみることをお勧めします。

新入生への歓迎の言葉



1年生のみなさん、苦しい受験生活を乗り越え、自分の将来の夢や目標達成のために、ここ新潟県立看護大学に入学されたこと、心よりお祝い申し上げます。ここは単科大学のため、先輩と後輩の距離がとても近いことが特徴です。球技大会といった1年生から4年生までがお互いの絆を深める機会があります。また、実習等で困ったり悩んだりしても身近な先輩から相談に乗ってもらいやすい環境にもあります。みなさんが充実した学生生活を送れるよう私たちも応援しています。

昨今のCOVID-19の感染拡大により、私たちの学習も大きな影響を受けています。これからは新しい学習スタイルへの挑戦や自宅での自主学習の習慣づけなど、多くの変化に対応していかなければなりません。みんなで力を合わせ、一人ひとりがそれぞれの目標を達成していけるよう一緒に頑張っていきましょう。そして、このピンチを私たちが大きなチャンスに変えていきましょう。

■ 新任教員紹介



臨床看護学領域
小児看護学
助教
伊藤 ひかる

この4月より小児看護学で勤務させていただいております伊藤ひかると申します。私は、本学学部と大学院修士課程の卒業生でもあります。また、これまで本学において助手や実習助手としてお世話になっておりましたので、顔を知っている学生さんもおられるかと思っております。教職員のみならず学生のころからお世話になっており、教員となった今でも継続して温かいご指導やサポートをいただけることに、大変感謝しております。

大学院修士課程では、看護師チームのレジリエンスに関する研究を行いました。だれもが、そして、どのようなチーム・組織でも、想定外の未経験課題や突発的事態に直面する可能性があります。「それでもなんとか乗り

越えていく力」がレジリエンスです。

レジリエンスは、だれもが人生の中で学習し、発達させていくことができるものであるとされています。今年は新型コロナウイルスの影響により、学生のみならずこれまでに経験したことのないような様々な困難に直面したのではないかと思います。学生のみならず、すべての経験を成長の糧とし、苦境から回復する能力を学習し身につけ、看護職として成長していけるよう、微力ですがサポートさせていただきたいと思っております。

至らない点が多々あるかと思いますが、教職員のみならずのお力添えをいただきながら、日々努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 新事務職員紹介



事務局長
柳澤 義治

4月から、事務局次長としてお世話になっている柳澤です。着任以来、様々な会議に出席させていただき、教職員の皆さんと一緒に親身に大学運営に取り組んでいる姿に、日々感銘を受けております。ただ私自身は、皆さんの議論に付いていけず、緊張感を感じながら毎日を過ごしております。

看護大学には、地域医療の業務に携わっていた10年ほど前、DMATの参集訓練でおじゃましたことが、これまでで唯一でした。もちろん勤務経験はありません。早く組織に貢献できればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

上越での勤務は約25年ぶりになります。その頃からずっと、自分の生まれ育ったこの地でもう一度勤務したいなあと考えていたので、気持ち的にはワクワク感を感じています。新型コロナウイルスの影響で全くできていませんが、旧友との交流や自分の知らない上越の魅力を改めてゆっくり探訪したいと思っています。



総務課庶務係長
佐藤 利和

4月1日から総務課庶務係でお世話になっております。

本学での勤務は15年ぶりになります。公立大学法人になるなど、以前とは大きな変化もあり、戸惑う部分も多々ありますが、学内を歩いていると懐かしく感じ、当時を思い起こしたりもしています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で大変なスタートになってしまい、学生の皆さんは何かと不自由な思いをしていることと思いますが、この状況に負けず、目標に向かい頑張っていきたいと思

います。

微力ながら本学のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課経営企画係長
梅山 香織

4月に総務課経営企画係に赴任しました梅山と申します。

赴任前は、医療・薬事に関わる仕事をしていました。赴任してから前職場で聞き馴染みのあった言葉を見聞きする機会があり感慨深く感じたり、図書館にある医療・保健系図書の多さに驚いたりしているところです。

この度の新型コロナウイルス感染問題がなければ、日々学生の元気な姿を見ることができたであろうと思ひ、残念に感じています。早くこの非常事態が収束となり、本来の活気ある看護大学の姿を見ることを楽しみにしています。

早く仕事を覚えて、大学に関わる皆様のお役に立てるよう頑張る所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課庶務係
大倉 由衣

4月1日より、総務課庶務係に配属となりました大倉由衣と申します。以前は新潟県柏崎市で家電メーカーの技術職として勤めておりましたが、看護師を目指す学生さんのサポートがしたいという思いから、今回縁があり本学で勤務させていただくことになりました。学校事務の仕事は今まで経験がなく、分からないこともたくさんありますが周りの方にサポートしていただきながら、慌ただしくも毎日充実した日々を送らせていただいております。

上越市は自然も多く、登山やキャンプなどが趣味な私にとってはとても魅力的な街であるため、このような環境で働かせていただけることにとても感謝しております。今年は新型コロナウイルスの影響もあり異例の事態となっておりますが、学生さんや教職員の皆さんのお力になれるように、日々精進してまいります。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

サークル活動紹介&PR

サークル活動再開に向けてどのサークルも只今パワー充電中です!

よさこいサークル

よさこいサークルは、毎週金曜日18時~20時まで体育館で練習しています。現在2年生5人、3年生7人、4年生6人の計18人が所属しています。活動内容は地域のイベントや桜蓮祭で踊りの披露です。大学からよさこいを始めた人がほとんどなので、未経験者でも楽しめます!新型コロナウイルスの影響で新入生の勧誘ができていないので、新入生の加入是非お待ちしております!男女ともに大募集です!もちろん2~4年生の方々の加入も大歓迎です!一緒に楽しく活動しましょう。



100徒歩サークル

学生スタッフ募集中です!
「学生時代にしかできないことをしたい!」と思っているそのあなた、100km徒歩の旅で子どもたちと一緒に成長しよう!!
このプロジェクトは小学校4~6年生とともに5日間かけて自然豊かな十日町、津南町の100kmを歩きます。学生スタッフの役割としては5日間子どもたちと過ごし、子どもたちが100km歩ききるサポートをすることです。子どもたちと接することで元気をもらうことや学ぶことができそうです。
今年の100km徒歩の旅は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいましたが、来年また実施する予定です!たくさんの方の参加をお待ちしています!




吹奏楽団サークル

私たちは2年生18人(うち看護大6人)、3年生12人の計30人で活動しています。春、夏、12月の定期演奏会の3つの自主公演に加えて、地域のイベントでも演奏させていただいています!練習は主に月・金18:30~21:00。演奏だけではなく、夏にみんなで海に行く「ウラジオ」など、年間通して様々な行事があります!上越教育大とのインカレサークルなので賑やかでとっても楽しいです!上教大への送迎は先輩がしてくれるので大丈夫!初心者も経験者も大歓迎!気軽にご連絡ください。




ダンスサークル

こんにちは、ダンスサークルです。私たちダンスサークルは、毎週木曜日に体育館で活動しています。活動内容として、新入生歓迎会、夏のサマーライブ、秋の桜蓮祭に向けた練習を主に行っています。また、地域のイベントに参加することもあります。ジャンルはHip-hopやガールズなどの創作ダンスだけでなく、完コピにも挑戦しています。学年が上がるにつれて曲を担当できるようになり、自分の好きな曲、踊りたい曲を踊ることが出来ます。学年関係なく仲が良かったため練習も楽しく、桜蓮祭などの大きなイベントでは全学年が一つになって取り組むため、達成感が大きく、学年間の仲もより一層深まります。
メンバーの中には大学からダンスを始めた人も多いため、初心者の方大歓迎です。もちろん、経験者の方も大歓迎です。少しでも興味のある方、やってみようと思っている方、ぜひお待ちしております!一緒に楽しく踊りましょう!




研究室訪問

成人看護学 榎澤 三奈子先生

今回の研究室訪問は、榎澤先生です。冷静沈着で淡々としたイメージの先生ですが、実際はどうなのでしょう。榎澤先生の素顔に迫りたいと思います！

「がん看護」の研究者になった経緯を教えてください

看護師5年目のときに出会った男性がん患者さんがきっかけでした。多くの合併症を持って手術することを決めてようやく前を向き始めたのですが、手術後ほとんど動けなくなって。少しでも歩いたり動いたりできないかとケアしたのですが、坂を転がるように悪くなって、なすすべがなかった。その時「今の自分じゃダメだ。もっと知識や技術の向上を目指そう。つらい診断を受けて治療することを選択し、生きようとしている人を支援できる看護師になろう」と思ったのがきっかけです。だから、患者さんへの心残りが研究者としてのスタートです。



大学院の遠隔授業風景

教員として学生に伝えたいことは何ですか。

今、1年生の担任をしていますが、困難や問題にぶつかった時に、自分で対処できる学生さんになってほしいと思っています。だから、学生には「何が問題なのか」「何が原因なのか」「それを放置すればどうなるのか」「どう対処すればいいのか」と問いかけることを心がけています。困難や問題を、教員がなんとかするのは簡単だけどちょっと違うかな。だから、面倒見もよくないし、厳しい教員だと思います。助けをあげたいなと思っても、自力で解決する経験は人間の成長には必要だし、それは看護師にも必要になると思うからです。

では、そろそろ堅い話は終わりにして、先生の夢を教えてください。

夢というか、やりたいことであれば。死ぬまでに一度、スペインにある巡礼の道を歩きたいです。大学で第二外国語をスペイン語で学習した時に文化を調べていて、巡礼の道を知ったんです。「聖地を求めて列を作って歩く人たちは何を考えているのか」ということを、その人たちと同じように行動することで理解したいと思っています。自分の人生を振り返る目的としても、いつか行ってみたいですね。

「巡礼の道」に「足るを知る」・・・

イメージ以上のストイックさをお持ちの先生で、インタビュー中も後も、いろいろと考えさせられる有意義な時間となりました！榎澤先生、どうもありがとうございました。



日々の生活の中で大事にしていること、ありますか

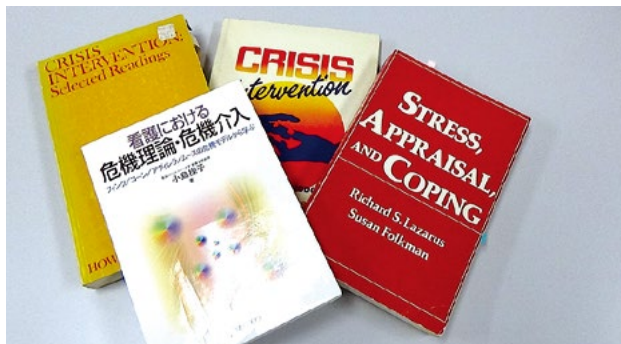
本当に大切なものは手のひらの上ののるくらい小さなもので、それを大事にしたいと思っています。それは物質だけではなく人も同じです。一生付き合いたい人はそんなに多くないし、実際に指折り数えても片手で充分足りるくらいですけど(笑)。それでいいと思っています。こういうのをなんて言うのかな……そう、だ、「足るを知る」です。今、自分ができることを模索しながら、一日一日を過ごしています。



大切なものは手のひらに

そういえば、先生の研究室、ホントに物が少ないですね。本もそんなに多くない気がしますが。

私、ミニマリストだと思います。お気に入りの本以外は図書館の本を活用しています。そうそう、本といえば、恩師からいただいたこの3冊が私の宝物です。これは、恩師が若い頃に外国に行かれて貪るように買って読まれた本の中の3冊なんです。ものすごく物が多い人でしたが、引退される時、貴重な財産である本を惜しみなく部下の下に置いていかれたんです。ああいう仕舞い方は潔いなって。だから、私の「足るを知る」のも、恩師の影響かもしれません。



恩師から譲り受けた本



今回は、シリーズ「学生アンケート」はお休みして、緊急企画「教員アンケート」をお届けします！



学生にお勧めしたい 家での過ごし方、リフレッシュ方法

新型コロナウイルス蔓延については、まだまだ注意が必要ですね。家にいる時間が長くなることで、身体も心も窮屈に感じませんか？今回は、学生の皆さんにお勧めしたい家での過ごし方を先生方に聞いてみました！

#おうち時間を
楽しもう

#STOP!密!

- 1位 体操やダンスで身体も気分もリフレッシュ!** 動画サイトも参考に。テレビ体操をして早起きするなど規則正しく生活することが大切。
- 2位 瞑想や波音、空を見上げてみる** ストレスが多いとき、意識的に行うことで心を落ち着ける効果も。
- 3位 お風呂でゆったりバスタイム** 普段湯船に浸かってますか？温熱効果でリラックス。入浴剤やバスライトも効果的。
- 4位 料理の腕をあげてみる!** カフェ飯や普段作らない料理に挑戦しよう。
- 5位 散歩** 人が多くない時間帯、場所で。深呼吸したり音楽聞いたりしながら。普段の道も新たな発見があるかも。

#あなたの知らない
家籠りの世界

他には、今だからこそできること、普段できないことへのチャレンジをしようという回答も。先生方より沢山個性的な回答をいただいたので、全てを掲載することが出来なかったのが残念ですが、是非参考にしてみてください!!



令和2年度 科学研究費採択課題一覧

研究代表者	課題(期間)	研究種目
舟島 なをみ	医療事故防止のための「看護職包括型患者安全教育推進システム」の拡充と普及 (R1~R5年度)	基盤研究 (B)
岩永 喜久子	チーム医療における高度実践看護師が担う看護専門外来システムの開発に関する研究 (H28~R1年度) ※R2年度延長承認	基盤研究 (C)
石田 和子	がん化学療法に伴う妊孕性の低下におけるライフイベント支援モデルの開発とその評価 (H29~R1年度) ※R2年度延長承認	基盤研究 (C)
岡村 典子	感情を的確にマネジメントする為のスキル習得に向けた看護管理者向けプログラムの構築 (H29~R2年度)	基盤研究 (C)
榎澤 三奈子	補助化学療法を受ける肺がん患者の倦怠感セルフマネジメント促進プログラムの臨床評価 (H29~R2年度)	基盤研究 (C)
堀江 正男	Dystoninコンディショナルマウスを用いたジストニア症状の責任脳回路解明 (H29~R1年度) ※R2年度延長承認	基盤研究 (C)
境原 三津夫	小児病院におけるファシリテッド導入促進のために一細菌学的視点からみた安全性一 (H30~R2年度)	基盤研究 (C)
小野 幸子	看護基礎教育課程における高齢者支援のための多職種連携教育の構築 (H30~R2年度)	基盤研究 (C)
河原畑 尚美	看護基礎教育における高齢者のケア倫理教育プログラムの開発 (H30~R2年度)	基盤研究 (C)
徐 淑子	ホーム・リダクションと薬物依存者への社会的ケア：東アジアへの影響、移入、展開 (H30~R2年度)	基盤研究 (C)
渡辺 弘之	ベトナムのハンセン病元患者の子どもが持つ「傷つきやすさ」とエンパワーメント支援 (R1~R3年度)	基盤研究 (C)
永吉 雅人	強化学習によるメンバーシップ向上に寄与する共創的ナース・スケジューリングシステム (R1~R3年度)	基盤研究 (C)
高柳 智子	回復期脳卒中患者の病棟生活21時間の移乗を支える生活者目線の看護支援モデルの開発 (R1~R4年度)	基盤研究 (C)
舟島 なをみ	問題診断克服型FDモデルの開発—教員の研究指導能力向上を目指して (H30~R2年度)	挑戦的研究 (萌芽)
藤田 尚	古代人における疾患の解明と看護・介護の復元 (H30~R1年度) ※R2年度延長承認	挑戦的研究 (萌芽)
天谷 まり子	妊娠糖尿病 (GDM) 妊婦における食事療法の適応状態に関する評価尺度の開発 (H29~R1年度) ※R2年度延長承認	若手研究 (B)
酒井 禎子	化学放射線療法を行う高齢がん患者の「食べて動ける力」を支える集学的ケアモデル構築 (H30~R2年度)	若手研究
野澤 祥子	成人先天性心疾患患者のための相互補完型の教育を応用した就労支援モデルの開発 (H30~R3年度)	若手研究
研究代表者	課題(期間)	研究種目
石原 千晶	分子標的薬治療による皮膚障害に対する生活支援マネジメントモデルの開発	基盤研究 (C)
野口 裕子	乳幼児を持つ養育者の防災行動教育プログラムの開発	基盤研究 (C)
大口 洋子	豪雪地帯に暮らす後期高齢者のストレンスを活かした自助・互助のありかた	基盤研究 (C)
高林 知佳子	主観的幸福感をトリガーとした家族介護者における介護予防行動促進モデルの構築	基盤研究 (C)
船山 健二	刑余者のヘルスケアニーズ	若手研究
井上 智代	農村ソーシャル・キャピタル醸成に向けた高齢者のストレンス活用モデルの構築	若手研究

2
新規採択課題